

Monthly Times (H27.5月号)

☆ 創造・自律・共生 ☆

★ 有田中央高等学校 ★

球技大会実施 熱戦が続出！



5月21日(木)、球技大会が晴天の中実施されました。女子はドッジボール、男子はソフトボールをクラス対抗で行いました。よくまとまったクラスが多く、最後まであきらめない白熱した試合が続きました。

また、応援マナーや集合等も良く、生徒が学校行事に取り組む姿勢や意欲が年々向上していることを強く感じます。

ソフトボール3年の部では職員チームが決勝戦で完敗しました。「生徒が一球となつてプレ

ーしているの、こちら必死でプレーしました。」という先生方の感想が目立ちました。

新年度が始まり約2ヶ月、当初のあわただしさから落ち着きを取り戻しつつあります。生徒の皆さんには、球技大会を機に、学校生活をより充実したものとするために頑張ってもらいたいものです。



壮行会 各部が健闘を誓い合う！



5月19日(火)中間考査最終日に、近々実施される総体や文化部のコンクール等に挑む生徒たちの健闘を期待して、壮行会を開きました。生徒会役員川口遼平・神藤麻未による司会の下、各クラブ・キャプテン、部長が力強く決意表明を行いました。

河本校長が「3年生にとっては最後の大会となり、日頃積み重ねた練習や活動の成果を発揮し、ベストを尽くしてほしい。」と話し、生徒を代表して生徒会役員寺井沙也加激励の言葉と同時に満場の拍手が贈られました。

恒例の「溝掃除」大勢の生徒が頑張る！

5月1日(金)午後、恒例の学校周辺の清掃活動(通称「溝掃除」)を行い過去最多240名の有志生徒が参加しました。かつては、地域の清掃活動として教員が中心となり参加していましたが、地域の方々に学校を挙げて感謝の気持ちを表そうと、5年前から有志生徒の参加を呼びかけているのです。

最初、生徒は中庭に集合し、河本校長が「地域の清掃をすることの大変さを知るとともにこの活動を自分の成長につなげて欲しい」と話し、古川怜央生徒会長の「頑張るぞ！」のかけ声で清掃が始まりました。

初夏の暑い日差しの中、生徒は長靴や手袋を身につけ、汗をかきながら励みました。

清掃後、すっかりきれいになった風景を前に、生徒の達成感に溢れた表情が印象的でした。



